

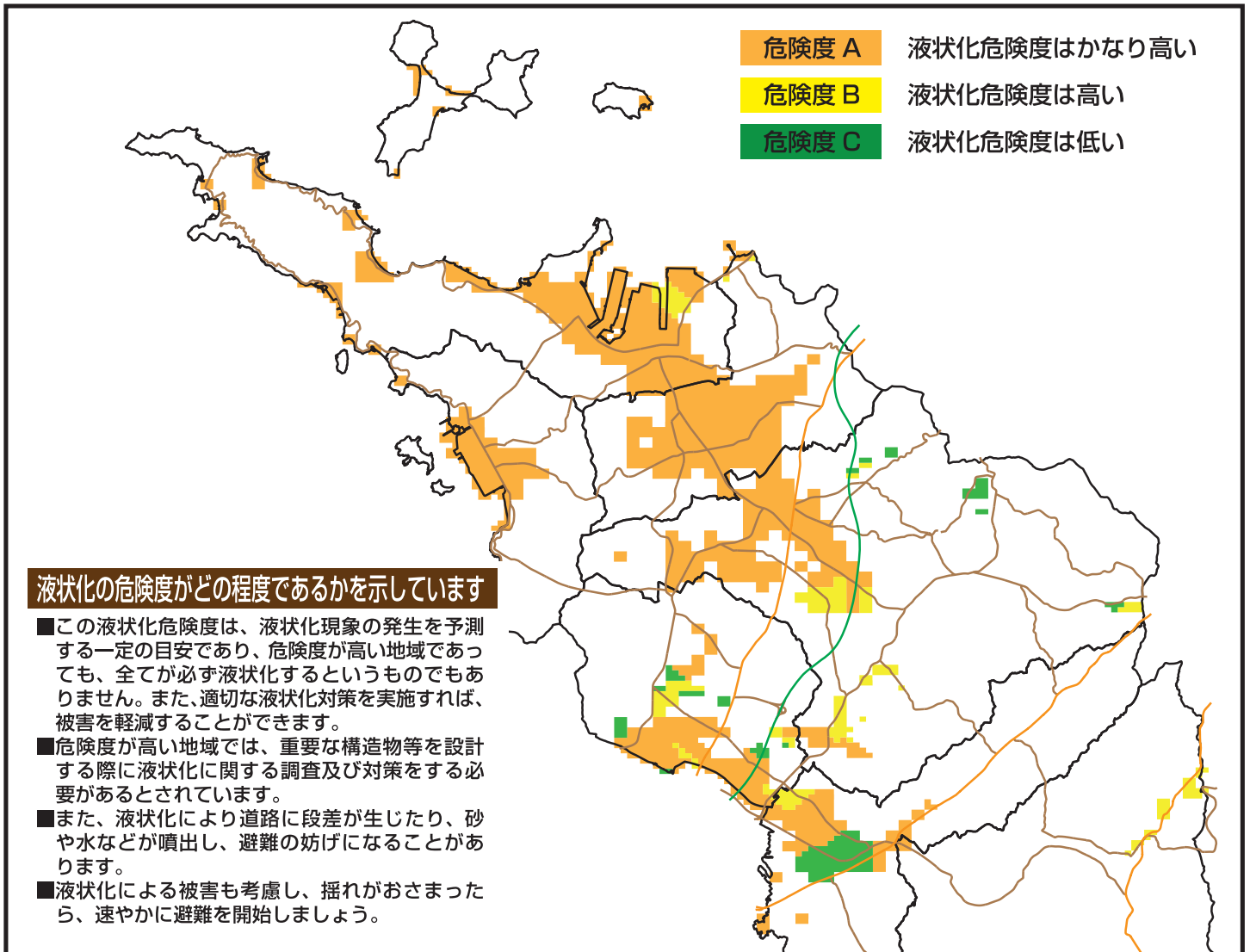


# 液状化マップ



Language

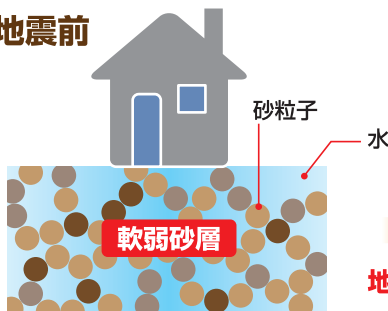
## 液状化の想定



## 液状化とは？

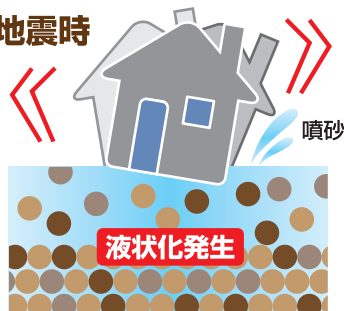
液状化とは、地震によって地盤が一時的に液体のようになってしまう現象です。地下水位が高く、ゆるい砂からできた地盤に、地震による強い揺れが加わると、液状化現象が発生する可能性が高くなります。

地震前



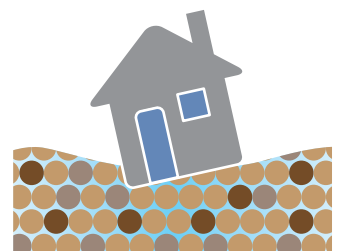
砂などの軽く積もった地盤で、砂の粒子がお互にくっついて骨格を造り、その間に水がある状態。骨格の強度は弱く壊れやすい。

地震時



地震の揺れで、砂の粒子は下層では密になり、上層では液体状になり、家が傾き始める。地表では噴砂が起こることもあります。

地震後



地震後、地盤は沈下し、家が傾いたり沈んだり（不同沈下）します。

地盤が液状化するために、重い建物などを支えることができなくなり、地盤沈下や傾斜が起きたり、地中の軽いマンホールなどが浮き上がったりします。河川の堤防や護岸付近では数メートルにわたって地盤が流動することもあります。